



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月27日

上場会社名 株式会社 不二家
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事本部長 (氏名) 中島 清隆
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	24,370	△7.2	148	△77.7	268	△63.3	31	△90.9
2019年12月期第1四半期	26,251	△2.8	664	△23.8	732	△23.0	344	△35.3

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △158百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 626百万円 (32.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	1.22	—
2019年12月期第1四半期	13.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	68,204	48,878	69.0
2019年12月期	71,645	49,423	66.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 47,087百万円 2019年12月期 47,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,100	△0.5	400	△23.0	500	△24.4	100	△34.0	3.88
通期	103,900	0.5	2,200	19.7	2,500	6.6	1,250	3.5	48.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	25,784,659 株	2019年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	9,577 株	2019年12月期	9,538 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	25,775,097 株	2019年12月期1Q	25,775,205 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～3月31日)のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大幅に下押しされ、先行きの見通しも不透明な状況となりました。

当社グループが属する食品業界においては、インバウンド需要の激減、外出自粛等の影響により、経営環境は急速に厳しいものとなっております。特に飲食業においては、外出自粛が大きく影響しております。

このような環境下にあつて当社グループは、従業員の出勤前検温の実施、手洗い・手指消毒の励行、マスクの着用に加え、時差勤務・テレワークを導入するなど、従業員の健康維持につとめております。その中において当社グループは、新製品開発と既存製品の品質改善に継続して取り組み、生産性の維持・向上をはかりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内事業環境の悪化や中国事業の停滞による売上減少もあり、243億70百万円(対前年同期比92.8%)となりました。営業利益は1億48百万円(対前年同期比22.3%)、経常利益は2億68百万円(対前年同期比36.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円(対前年同期比9.1%)となり、売上、利益とも前年同期を下回りました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2020年1月1日から 2020年3月31日まで		2019年1月1日から 2019年3月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	5,800	23.8	6,194	23.6	93.6	△394
	レストラン	1,227	5.0	1,452	5.5	84.5	△224
	計	7,028	28.8	7,646	29.1	91.9	△618
製菓事業	菓子	15,443	63.4	16,434	62.6	94.0	△990
	飲料	1,146	4.7	1,533	5.9	74.7	△387
	計	16,590	68.1	17,968	68.5	92.3	△1,378
その他		751	3.1	635	2.4	118.2	115
合計		24,370	100.0	26,251	100.0	92.8	△1,881

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子においては、洋菓子チェーン店の売上確保と広域流通企業との取り組み拡大をはかりました。洋菓子チェーン店では、外出自粛で来店客数が減少する中で、プレミアムシリーズの特別価格での販売など売上促進策を継続する一方、いわゆる巣ごもり消費に対応した賞味期限の長い製品の品揃え強化を進めました。店舗面では、前期より開設増に取り組んでいる納品店(当社が食品スーパー等に製品を納入して販売は納入先が行う店舗)は当第1四半期に18店舗開店しました。一方、高付加価値製品中心の「西洋菓子舗不二家」は、常設の日本橋・京都のほか期間限定店舗を7店舗出店し、百貨店や主要駅の商業施設向けには「FUJIYA CONFECTIONERY」ブランドのもと、期間限定で2店舗出店しました。なお、当第1四半期連結会計期間末における不二家洋菓子チェーン店の営業店舗数は前年同期差27店舗減の826店となりました。

広域流通企業との取り組みについては、生産性の高い製造ラインを活用したファミリーパック製品の積極的な販売に加え、ミルキーブランドを活用した「生バウムクーヘン」等を発売し、売上は前年同期を上回ることができました。

店舗数及び客数の減少の影響により、単体の洋菓子では売上、利益とも前年同期を下回りましたが、各種施策の効果により、3月の既存店売上の前年同期比は2月を上回るなど徐々に回復傾向となりました。

㈱スイートガーデンでは、チェーン店の売上減少が影響し、前年同期の売上を下回りました。しかしながら、広域流通企業向け製品の売上は、新製品提案の促進による採用製品の増加、新規取引先との取引拡大により着実に伸長しております。

㈱ダロワイヨジャパンでは、2月下旬以降、主要な出店先であるターミナル駅、百貨店の店舗売上の減少に加え、企業向け社内販売も中止となる中、インターネット通販の品揃え充実などの対策を講じましたが、売上は前年同期を下回りました。しかしながら、利益面では販売管理費の抑制により、改善を進めることができました。

この結果、洋菓子類の売上高は、58億円（対前年同期比93.6%）となりました。

レストランでは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国に5店舗を出店しているお子様向け集客施設の長期休館、出店先商業施設の営業時間短縮等が大きく影響し、売上高は12億27百万円（対前年同期比84.5%）となりました。このような中、前期に値下げを行ったスイーツバイキングの拡販をはかり、お食事券贈呈サービス、シニア向け割引などの再来店促進策も実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は70億28百万円（対前年同期比91.9%）となりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子においては、主力ブランドの拡販に取り組むとともに、新製品開発を推進しました。製品面では、『健康・グルメ』をテーマに、主力ブランドで季節を先取りした抹茶製品をはじめ、国産素材へのこだわりと柔らかい食感が特長の「やわらかピュアミルク」、ナッツの健康イメージを訴求したファミリータイプ製品「ピーナツ習慣（カカオ70%）」を発売しました。新型コロナウイルスの影響による巣ごもり消費向けに拡販をはかったファミリータイプ製品の売上は比較的好調に推移しましたが、全体では前年同期を下回る売上となり、利益面でも販売促進費の増加が影響し、前年同期を下回りました。

ペコちゃん生誕70周年にあたっては、記念キャンペーン「ペコフェス」第1弾として、当社製品と一緒に写った動画や静止画を募集し、それを素材としてCMを制作するキャンペーンを開始しました。

不二家（杭州）食品有限公司では、新型コロナウイルスの感染拡大により、2月に入り工場の操業停止を余儀なくされましたが、従業員の健康管理状況が現地政府に評価され、いち早く2月11日より稼働を再開することができ、3月中旬以降、ほぼ通常の生産体制に復帰しました。工場閉鎖や中国市場の停滞の影響により、売上、利益とも前年同期の実績を下回りましたが、インターネット通販の拡大を図るなど売上回復につとめ、影響を最小限に止めることができました。

この結果、製菓事業における菓子の売上高は、154億43百万円（対前年同期比94.0%）となりました。

飲料については、既存主力製品の販売に注力するとともに、「ペコスカッシュ桃500ml」などの新製品を発売しました。しかしながら外出自粛による自販機売上の減少や店頭での販促活動の縮小が大きく影響し、売上高は11億46百万円（対前年同期比74.7%）と厳しい実績となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は、165億90百万円（対前年同期比92.3%）となりました。

<その他>

その他事業は、キャラクターグッズ販売及びライセンス事業、不動産賃貸事業並びに㈱不二家システムセンターの受注請負、データ入力サービスなどの事務受託業務であり、売上高は好調に推移し、7億51百万円（対前年同期比118.2%）と前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は319億36百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ30億71百万円減少いたしました。固定資産は362億68百万円で、主に有形固定資産や無形固定資産の減により、前連結会計年度末に比べ3億69百万円の減少となりました。

この結果、総資産は682億4百万円で前連結会計年度末に比べ34億40百万円減少いたしました。

また、流動負債は150億44百万円で、主に支払手形及び買掛金や未払金の減により前連結会計年度末に比べ26億54百万円減少いたしました。固定負債は42億81百万円で、主に長期借入金の返済や社債の償還等により前連結会計年度末に比べ2億40百万円減少いたしました。

この結果、負債は合計193億25百万円で、前連結会計年度末に比べ28億95百万円減少いたしました。

純資産は488億78百万円で、主に利益剰余金の減により前連結会計年度末に比べ5億44百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、巣ごもり消費による売上が好調に推移している部門がある一方で、店舗事業において出店先の営業自粛による休業や営業時間短縮等が発生しております。現時点で当社グループの業績に与える影響額を算定することが極めて困難であるため、2020年2月13日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,309	17,560
受取手形及び売掛金	13,842	8,395
商品及び製品	3,943	3,332
仕掛品	344	362
原材料及び貯蔵品	2,045	1,896
その他	772	666
貸倒引当金	△250	△277
流動資産合計	35,007	31,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,045	6,998
機械装置及び運搬具(純額)	11,079	10,726
土地	3,647	3,647
リース資産(純額)	996	954
その他(純額)	684	889
有形固定資産合計	23,452	23,216
無形固定資産		
その他	2,319	2,221
無形固定資産合計	2,319	2,221
投資その他の資産		
投資有価証券	6,228	6,177
繰延税金資産	1,380	1,432
敷金及び保証金	2,191	2,176
退職給付に係る資産	277	278
その他	1,003	977
貸倒引当金	△216	△211
投資その他の資産合計	10,865	10,830
固定資産合計	36,637	36,268
資産合計	71,645	68,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,667	5,321
短期借入金	1,435	1,382
1年内償還予定の社債	140	160
リース債務	504	463
未払金	5,340	4,503
未払法人税等	445	265
賞与引当金	337	746
店舗閉鎖損失引当金	0	-
その他	2,827	2,201
流動負債合計	17,699	15,044
固定負債		
社債	90	-
長期借入金	350	261
リース債務	696	636
繰延税金負債	66	65
退職給付に係る負債	2,235	2,223
長期末払金	23	23
その他	1,060	1,070
固定負債合計	4,522	4,281
負債合計	22,221	19,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,065	4,065
利益剰余金	25,103	24,748
自己株式	△18	△18
株主資本合計	47,431	47,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150	106
繰延ヘッジ損益	-	4
為替換算調整勘定	△64	△192
退職給付に係る調整累計額	102	94
その他の包括利益累計額合計	189	12
非支配株主持分	1,802	1,790
純資産合計	49,423	48,878
負債純資産合計	71,645	68,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	26,251	24,370
売上原価	13,907	12,876
売上総利益	12,344	11,493
販売費及び一般管理費	11,679	11,345
営業利益	664	148
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	25	25
持分法による投資利益	22	70
その他	22	18
営業外収益合計	82	131
営業外費用		
支払利息	3	3
その他	10	6
営業外費用合計	14	10
経常利益	732	268
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産売却損	5	-
固定資産廃棄損	12	15
特別損失合計	17	15
税金等調整前四半期純利益	714	253
法人税、住民税及び事業税	330	230
法人税等調整額	△50	△46
法人税等合計	280	183
四半期純利益	434	69
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	344	31

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	434	69
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△22
為替換算調整勘定	189	△179
退職給付に係る調整額	△4	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△17
その他の包括利益合計	191	△228
四半期包括利益	626	△158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483	△145
非支配株主に係る四半期包括利益	143	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,646	17,968	25,615	635	26,251	—	26,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	160	160	129	290	△290	—
計	7,646	18,129	25,776	765	26,541	△290	26,251
セグメント損益(△は損失)	△220	1,628	1,408	120	1,528	△863	664

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△863百万円には、その他の調整7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△871百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,028	16,590	23,618	751	24,370	—	24,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	137	137	136	273	△273	—
計	7,028	16,727	23,755	887	24,643	△273	24,370
セグメント損益(△は損失)	△434	1,260	825	186	1,011	△863	148

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△863百万円には、その他の調整11百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△874百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。